

| 科目名 | 授業形態 | 担当教員名 | |
|---------------|------|--|------|
| 臨床実習Ⅱ | 実習 | 嘉納 綾・石原 真奈美・淡路 大致 岡田 誠暁・山本 翔太・井上 直樹 | |
| 時間数（単位数） | 授業回数 | 年次 | 開講時期 |
| 405 時間（ 9 単位） | 回 | 3 年次 | 後期 |

授業の目的・概要

1・2年生で学んだ知識、技術、技能、態度の統合を図り、作業療法実践能力の基礎を身につけることを目的とする。具体的には、臨床教育指導者の指導・監督のもとで典型的な障害特性を呈する対象者に対して、作業療法士としての①倫理観や基本的態度を身につける、②許容される臨床技能を実践できる、③臨床教育指導者の作業療法の臨床思考過程を説明し作業療法の計画を立案できる、ことを目指す。

授業の到達目標

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 職業人として望ましい態度を身につける。 2. 責任ある行動を身につける。 3. 自己管理ができる。 4. 意欲的に取り組む姿勢を身につける。 5. 臨床教育指導者の監督・指導のもとで情報収集・面接・観察・検査測定ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 6. 様々な手段で収集した情報を統合・解釈し、対象者の全体像を把握することができる。 7. 臨床教育指導者の臨床思考過程を理解し、説明できる。 8. 臨床教育指導者の監督・指導のもとで対象者への治療的介入を実施することができる。 9. 管理および運営の補助ができる。 |
|--|--|

授業計画

| 回 | 内容 |
|---|--|
| ① | 臨床実習 |
| | 1. 実習期間：6月～11月の9週間（1日8時間×45日） |
| | 2. 実習施設：病院、老人保健施設など学校が依頼し決定した施設 |
| | 3. 実習形態：同一施設で臨床教育指導者の指導のもと作業療法実践能力の基礎を身につける |
| ② | 実習セミナーⅠ |
| | 1人の対象者に関して実習で得られた情報を、治療後の変化点を含めて担当教員の指導のもとまとめる |
| ③ | 実習セミナーⅡ |
| | 実習セミナーⅠでまとめた対象者について症例報告書の形式で全体に発表する |
| ④ | 実習後面談 |
| ⑤ | 臨床実習後評価 |
| | |
| | |
| | |
| | |

成績の評価方法と基準

| 種別 | 割合 | 評価基準・その他備考 |
|---------|------|-------------------------------|
| 筆記試験 | | |
| レポート・課題 | | |
| 小テスト | | |
| 平常点 | | |
| その他 | 100% | 実習内容、実習セミナーⅠ・Ⅱ、実習後評価で総合的に評価する |
| 自由記載 | | |

教科書

| 書名 | 著者・編集者名 | 出版社名 |
|------|---------|------|
| なし | | |
| | | |
| 自由記載 | | |

参考文献

| 書名 | 著者・編集者名 | 出版社名 |
|----------------------------------|---------|------|
| 令和5年度臨床実習の手引き（神戸総合医療専門学校 作業療法士科） | | |
| 自由記載 | | |

備考

実習は対象者や関係者、実習施設の好意により行われるため、感謝と礼儀を忘れないこと。日頃から健康管理につとめ、特に実習期間は健康に留意すること。麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎の抗体値が基準を満たしていることが、実習に参加する条件である。